

# 第33回 通常総会議案

令和5年5月18日



一般社団法人ダム工学会



## 目 次

議案 1	令和 4 年度事業報告	1
議案 2	令和 4 年度収支決算報告	3 2
議案 3	令和 4 年度会計監査報告	3 5
議案 4	理事選任 (案)	3 6
議案 5	監事選任 (案)	3 7
報告 1	令和 5 年度事業計画	3 8
報告 2	令和 5 年度収支予算	4 2
報告 3	評議委員の紹介	4 4
報告 4	令和 4 年度ダム工学会賞受賞者	4 5



# 令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事業計画について必要な見直しを行いつつ、会員各位の協力のもとに、広報活動、学術講演会、研究発表会、講習会、各地区現場見学会、ダムなんでも相談室、with Dam★Night 2022、ダム工学会賞の選定と表彰等について、WEB会議システムを活用した開催、延期・中止などの対応・措置を講じた。学会誌「ダム工学」を発行するとともに、一般の方がダムに関する情報を容易に得られるようダム工学会ホームページを運用した。

調査研究委員会では、各研究部会の下、研究活動を行った。交流研究事業3テーマを継続実施した。ダムの洪水調節機能を高める取り組みを紹介する動画「防災学術連携体 防災科学の基礎講座」を作成し公開した。また、大規模洪水が頻発する中、「ダム事前放流の効果的実施に関する提言」をとりまとめ公表した。

会員数は、令和4年度末現在、正会員・シニア会員は664名、学生会員は70名、賛助会員は50社となった。令和3年度末に比べて、正会員・シニア会員は77名の減少、学生会員は1名の減少、賛助会員は1社の減少となっている。

各事業の実施については、各委員会、研究部会により安全で適切に行われた。また、会員各位の積極的な活動に支えられた。

## 1. 委員会等活動報告

### (1) 通常総会

令和4年5月に通常総会（WEB開催）を開催し、令和3年度事業報告及び収支決算、理事選任等について承認を得るとともに、令和4年度事業計画及び収支予算等について報告を行った。

#### ○ 第32回 通常総会（WEB開催）

開催日： 令和4年5月19日

場所： 東京カルチャーカルチャー（渋谷区）

委任者数： 384名

議題： 令和3年度事業報告及び収支決算、会計監査報告  
理事選任、監事選任

報告： 令和4年度事業計画及び収支予算

評議委員の紹介

令和3年度ダム工学会賞受賞者

### (2) 理事会

以下の通り理事会を開催した。

#### ○ 第84回 理事会

開催日： 令和4年4月26日

場所： (一財)ダム技術センター AB会議室（対面・WEB併用開催）

議題： 第32回通常総会議案（案）について

会員状況

ダム工学会の当面の主な予定

第32回通常総会 議事次第（案）

第32回通常総会及び特別講演会について（第2報案）

今後の学会運営に関して

- 第85回 理事会  
開催日： 令和4年5月26日  
場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)  
議題： 会長・副会長の選出について  
顧問の選出について  
ダム工学会表彰委員会委員選出について  
ダム工学会選考委員会委員選出について  
理事の委員会委員委嘱について  
今後の学会運営に関するフォローアップについて

- 第86回 理事会  
開催日： 令和5年3月15日  
場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)  
議題： 令和5年度事業計画 (案) について  
令和5年度収支予算 (案) について  
報告： 令和4年度事業執行状況について  
会員数の推移  
ダム工学会通常総会までの主な予定  
今後の学会運営に関するフォローアップについて

### (3) 評議委員会

以下の通り評議委員会を開催した。

- 第43回 評議委員会  
開催日： 令和4年4月26日  
場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)  
議題： 令和4年度 理事推薦 (案) について  
令和4年度 監事推薦 (案) について  
令和4年度 評議委員 (案) について  
第32回通常総会議案 (案) について  
ダム工学会の当面の主な予定  
第32回通常総会 議事次第 (案)  
第32回通常総会及び特別講演会について (第2報案)

### (4) 委員会等活動

事業活動を推進するため、企画運営委員会及び各小委員会、編集委員会、調査研究委員会、ダム工学会賞の関係委員会を以下の通り開催した。

#### 1) 企画運営委員会

- 第92回 企画運営委員会  
開催日： 令和4年4月12日  
場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)  
議題： 第32回通常総会議案 (案) について  
ダム工学会の当面の主な予定  
第32回通常総会 議事次第 (案)  
第32回通常総会及び特別講演会について (第2報案)  
今後の学会運営に関して

- 第93回 企画運営委員会  
 開催日： 令和5年2月15日  
 場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)  
 議題： 令和4年度活動報告・令和5年度事業計画(案)について  
 令和4年度事業執行状況について  
 令和5年度収支予算(案)について  
 ダム工学会通常総会までの主な予定  
 今後の学会運営に関するフォローアップについて
- 各小委員会の活動内容
  - ① 総務小委員会  
 通常総会、理事会、評議委員会及び企画運営委員会の運営に関する企画・立案・実施、会員情報の管理、学会会計(会費の徴収を含む)の報告を行った。
  - ② 学術研究発表会小委員会  
 特別講演会及び研究発表会の運営に関する企画・立案・実施を行った。
  - ③ 講習会小委員会  
 講習会の運営に関する企画・立案・実施を行った。
  - ④ 現地見学会小委員会  
 現地見学会開催に関する企画・立案等を行った。
  - ⑤ 広報小委員会  
 学会及び学会行事の広報に関する企画・立案・実施を行った。また、ホームページの更新、メルマガ配信サービスにより情報提供を行った。
  - ⑥ 活性化推進小委員会  
 ダム工学会の活性化推進方策の検討や、with Dam★Night 2022、各地区活動・ダムなんでも相談室・若手の会の運営に関する企画・立案・実施を行った。

## 2) 編集委員会

「ダム工学」発行のため、編集委員会を計4回開催した。

- 第130回 編集委員会  
 開催日： 令和4年4月14日  
 場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)  
 議題： 学術部門の掲載予定について  
 一般部門の掲載予定について
- 第131回 編集委員会  
 開催日： 令和4年7月12日  
 場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)  
 議題： 学術部門の掲載予定について  
 一般部門の掲載予定について
- 第132回 編集委員会  
 開催日： 令和4年10月19日  
 場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)  
 議題： 学術部門の掲載予定について  
 一般部門の掲載予定について  
 特集号など今後の企画編成について

- 第133回 編集委員会  
 開催日： 令和5年1月18日  
 場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)  
 議題： 学術部門の掲載予定について  
           一般部門の掲載予定について  
           特集号など今後の企画編成について

### 3) 調査研究委員会

- 第1回 調査研究委員会  
 開催日： 令和4年7月21日  
 場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (WEB開催)  
 議題： 事業報告内容の確認  
           (コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、  
           施工、ダム技術史、ダム貯水池課題研究部会)  
           交流研究事業の状況報告  
           今後の学会運営に関するフォローアップについて
- 第2回 調査研究委員会  
 開催日： 令和4年12月22日  
 場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)  
 議題： 事業報告内容の確認  
           (コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、  
           施工、ダム技術史、ダム貯水池課題研究部会)  
           交流研究事業の状況報告  
           交流研究補助金について (試行案)  
           令和4年度事業報告・令和5年度事業計画の作成

### 4) ダム工学会賞の関係委員会等

- 令和3年度 ダム工学会賞表彰式  
 令和3年度 ダム工学会賞表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月開催を延期した後、中止した。表彰状等は、受賞者へ郵送した。
- 令和4年度 選考委員会  
 開催日： 令和5年2月15日  
 場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)  
 議題： 技術賞の授賞者選考  
           功績賞、技術功績賞、論文賞、著作賞の各候補者選考
- 令和4年度 表彰委員会  
 開催日： 令和5年3月7日  
 場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)  
 議題： 優秀発表賞、技術賞の授賞者選考経過報告  
           功績賞、技術功績賞、論文賞、著作賞の授賞者選考



## 2. 行事活動

### (1) 研究発表会（学術講演会及び講習会と合同開催）

#### ○ 令和4年度 研究発表会（WEB開催）

開催日： 令和4年11月17日 10:00～13:30

場所： 東京カルチャーカルチャー（渋谷区）

聴講者数： 最大108名アクセス

発表論文数： 5編

優秀発表賞： （優秀発表賞選考委員会での選考）

国土交通省国土技術政策総合研究所 河川研究部

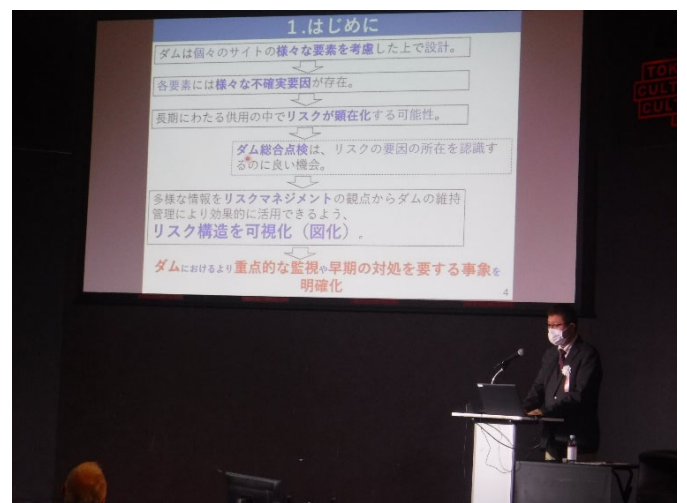
大規模河川構造物研究室 主任研究官 小堀 俊秀 氏

『ダム施設のより効果的な維持管理のための

リスク構造の可視化の試み』



ダム工学会 出水会長による開会挨拶



国土技術政策総合研究所 小堀氏による発表



優秀発表賞選考委員会 乗京委員長による  
優秀発表賞の発表、閉会挨拶

(2) 学術講演会（研究発表会及び講習会と合同開催）

- 第32回 特別講演会（WEB開催）
  - 開催日： 令和4年11月17日 13:40～14:30
  - 場所： 東京カルチャーカルチャー（渋谷区）
  - 聴講者数： 最大108名アクセス
  - 講演： 京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター  
教授 角 哲也 氏  
『ダム効果の即時的かつ効果的な情報発信』



京都大学防災研究所 角教授による講演

### (3) 講習会（研究発表会及び学術講演会と合同開催）

#### ○ 令和4年度 講習会（WEB開催）

開催日： 令和4年11月17日 14:40～16:00

場所： 東京カルチャーカルチャー（渋谷区）

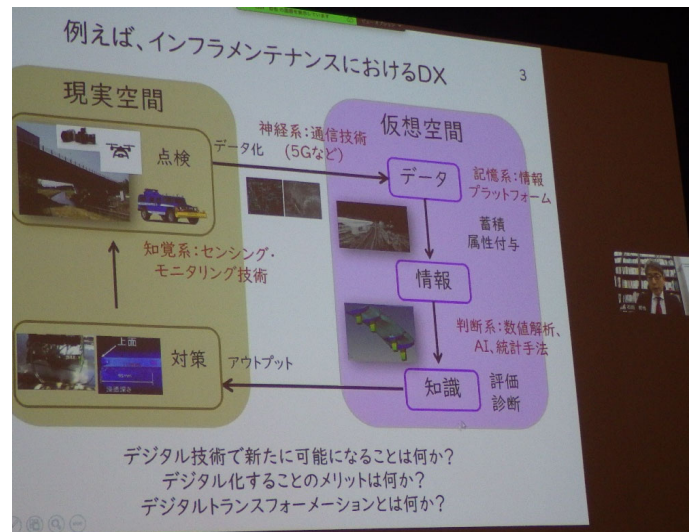
聴講者数： 最大108名アクセス

講演： 国土交通省 中国地方整備局 土師ダム管理所長 伊藤 健 氏  
『洪水時のダム効果の情報発信について』

東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻

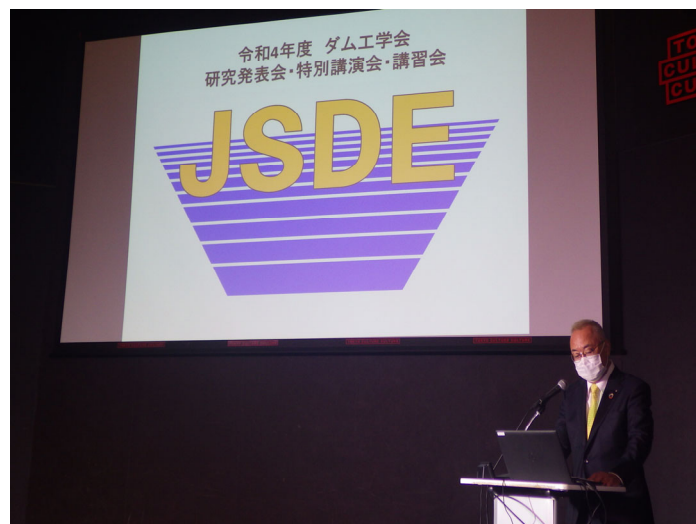
教授 石田 哲也 氏

『DXによる土木技術の革新』



中国地方整備局 伊藤土師ダム管理所長による講演

東京大学大学院 石田教授による講演



優秀発表賞選考委員会 乗京委員長による閉会挨拶

#### (4) 現地見学会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

#### (5) 活性化関連活動

- 令和4年度 北海道地区現場見学会（北海道土木技術会との共催）
- 令和4年度 中国・四国地区現地見学会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以上中止した。

○ ダムなんでも相談室

開催日： 令和4年8月6日～8月31日

開催形式： HP掲載（水の日・水の週間HP）

概要： ダムの役割と水の循環、再生可能なクリーンエネルギーや災害の心構えについて、写真や画像を利用して子供たちを対象にスライドショー・クイズを作成し、掲載した。

参加者数： 1,002名（水の日・水の週間 HP全体アクセス数）

水の日・水の週間  
ご存じですか？

水の日 | 水のミュージアム | 水を探そう | セレクション

水の循環とわたしたち  
水のミュージアムオンライン

ダム工学会  
「ダム何でも相談室」

ダムのやくわり

ダムのやくわり

→「ダムのやくわり」を見る

解答用紙は  
こちら

クイズに  
答える！

クイズに答えて  
もらおう！

ちゅうせん  
クイズに答えると、抽 選で30名様に「ダム」をテーマに撮 影され  
た、1月から12月までの季節感のある作品で競われるダムフォトコンテ  
スト第36回入賞作品をダムカードデザインにした今回限定の「卓 上カ  
レンダー」をプレゼントします。

※2022年度の募集は終了しました。

9 September 2021

※写真は昨年のものです

トップに戻る

©copyright: 水の週間実行委員会（お問い合わせはこちら）

HP 掲載（水の日・水の週間）

- 第7回 若手技術者のためのダム見学会  
 開催日： 令和4年8月26日  
 実施場所： 浦山ダム、滝沢ダム  
 参加者数： 17名

## ダム工学会若手の会 第7回若手技術者のための ダム見学会開催のお知らせ

～100年先のダム管理を目指して！～

ダム工学会 若手の会では、土木工学を学ぶ学生および若手技術者の皆様に、ダムの魅力を知っていただくため、ダム見学会や勉強会を開催しています。

昨年は「ダム建設最前線！～Dam×Digital～」と題し、Web勉強会の中で、3つの建設現場についてオンライン見学会（現地の動画を配信）を行いました。

沢山の皆様にご参加頂き、大変なご盛況いただきました。



令和元年 ダム見学会開催状況  
建設中の川上ダムをバックに記念撮影


令和4年度は、「既存ストックの有効活用」をテーマに、ダム管理の実態とダムの長寿命化に対する取り組みや既設ダムを有効活用するダム再生事業について、2回に分けて学びたいと思います。

**第1回目**は 浦山ダム、滝沢ダムのダム見学会です。管理されている

（独）水資源機構の皆様には、ダム管理における貴重なお話\*を伺いながら現地を歩きます。\*既設ダムが抱える問題など。

皆様のご参加を、事務局一同心よりお待ちしております！

### ◆ダム見学会開催要項

- ① 開催日：令和4年8月26日（金） 少雨決行（荒天の場合中止）
- ② 見学地：浦山ダム、滝沢ダム ※荒川ダム総合管理所HP ⇒ Check 
- ③ 募集人数：20名 （ダム工学会会員以外の方も参加可能です。）
- ④ 申込期限：令和4年8月19日（金）⇒定員に達し次第、締切とさせていただきます。
- ⑤ 申込方法：下記のダム工学会 若手の会参加申込URLより

参加申込フォームに必要事項をご入力し、お申込み下さい。申込み後、メールにてご案内をさせていただきます。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/a838ab0d751935>

または



- ⑥ 集合・解散：西武秩父駅（改札出口付近） 集合10：00、解散17：00
- ⑦ 服装など：動きやすい服装（雨天の際は、傘等）。ヘルメットは事務局で手配します。
- ⑧ 参加費：ダム工学会正会員および学生会員 3,000円、非会員 6,000円  
 ⇒当日までにダム工学会へ入会いただくと、会員価格で参加可能です  
 （学生会員は入会費、年会費とも無料）。  
 ⇒当日受付時に徴収いたします（内訳は旅行保険料、バス、昼食代等）。
- ⑨ 行程表：次頁に記載
- ⑩ その他：本見学会は、土木学会のCPDプログラム認定を申請予定です。  
 また、研究費での参加を検討されている方は、参加に必要な資料等、事務局にご相談下さい。

**お問合せ先**  
 TEL : 03-5815-4161  
 FAX : 03-5815-4162  
 E-Mail : damko\_wakate@jdec.or.jp  
 一般財団法人ダム技術センター内  
 ダム工学会若手の会事務局 田中、中村、間野



パンフレット

### 行程表（案）

日付	時刻	内容	備考
8/26 (金)	10:00	西武秩父駅（改札出口付近）	集合
	10:10	出発	貸切バスにて移動 （西武秩父駅～浦山ダム）
	10:30～12:00	◆浦山ダム見学（1時間30分）	浦山ダム管理所
	12:10～13:00	昼食（ダムカレー弁当）	ダム管理所内
	13:10	出発	貸切バスにて移動 （浦山ダム～滝沢ダム）
	14:00～15:30	◆滝沢ダム見学（1時間30分）	滝沢ダム管理所
	15:40	出発	貸切バスにて移動 （滝沢ダム～西部秩父駅）
	17:00	西武秩父駅	到着、解散
	*** おつかれさまでした！気を付けてお帰り下さい。 ***		

注意事項：「新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願い」をご確認ください。

#### 第2回目：ダム工学会若手の会 第9回ダムを知るための若手技術者勉強会（R5年1月開催予定）

Web配信により（独）水資源機構\*の皆様のご協力のもと、ダムの長寿命化計画における最新の取り組み（代替補給を活用した既設ダムの堆砂除去）や既設ダムを運用しながら有効活用する「ダム再生事業」（ダムの容量振替に伴う放流施設の増設）についてご紹介します。

※（独）水資源機構とは ⇒ Check



ダムに関する仕事についてより理解を深めるため、初の試みで、令和4年度テーマ「既存ストックの有効活用」を設定しました。ぜひ、連続での参加をご検討下さい！

ダム初心者でも大丈夫。「ダムの基礎知識講座」で、入門編をしっかりと解説致します。

詳細については、後日ダム工学会のホームページ（<http://www.jsde.jp/>）にてお知らせいたします。



ダム工学会は「技術現場からの研究課題の発掘と研究成果の社会への速やかな還元」を活動の目標としてさまざまな活動を行っています。本見学会はこの一環であり、土木工学を学ぶ学生や若手のダム技術者を対象としております。

#### 【若手技術者のためのダム勉強会の趣旨】

- ～ ダム見学・講演を通して、ダム事業の目的や効果、ダムの構造や施工、管理の方法など、様々な視点からダムについて学ぶ場を提供します。
- ～ ダム見学やダム事業に関わる先輩技術者との対話をとおしてダムに関する仕事の魅力を紹介します。
- ～ 学・官・民の若手技術者の連携・交流を深める場を提供し、ダム工学に関わる技術者の活性化を促します。

### プログラム



実施状況(1)



実施状況(2)

- 第9回 ダムを知るための若手技術者勉強会  
 開催日：令和5年1月18日  
 場所：(一財)ダム技術センター CD・E会議室 (WEB開催)  
 概要：ダム建設に関わる最新技術の紹介を通して、ダムの設計・施工についてのオンライン講演を行った。  
 参加者数：87名

## 第9回 ダム工学会 若手の会 ダムを知るための若手技術者勉強会開催のお知らせ

～ 100年先のダム管理を目指して！～

ダム工学会 若手の会では、土木工学を学ぶ学生および若手技術者の皆様に、ダムの魅力を知っていただくため、毎年、ダム見学会や勉強会を開催しています。

令和4年度は、「既存ストックの有効活用」をテーマに、ダム管理の実態と、ダムの長寿命化に対する取り組みや、既設ダムを有効活用するダム再生事業について、2回に分けて学ぶ企画としました。

第1回目(終了)：8月に浦山ダム、滝沢ダムの見学会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年以来3年ぶりとなる対面企画でしたが、(独)水資源機構の皆様をはじめ、参加者全員の協力により盛況の内に無事終えることができました。

第2回目：多くの皆様にご参加いただくため、Web配信による勉強会を開催します。

第1回目に引き続き、(独)水資源機構の皆様のご協力のもと、ダムの長寿命化計画における最新の取り組み(代替補給を活用した既設ダムの堆砂除去)や、既設ダムを運用しながら有効活用する「ダム再生事業」(ダムの容量振替に伴う放流施設の増設)についてご紹介します。

また、ダムを取り巻く「脱炭素社会実現に向けた取り組み」についてもご講演いただきます。ダム初心者でも大丈夫！冒頭の「ダムの基礎知識講座」で、入門編をしっかりと解説致します。

全国どこからでも、オンラインでひとつとび！一緒に、100年先のダム管理に思いを馳せてみませんか？皆様のご参加を、事務局一同心よりお待ちしております！

ダム工学会は「技術現場からの研究課題の発掘と研究成果の社会への速やかな還元」を活動の目標としてさまざまな活動を行っています。本勉強会はこの一環であり、土木工学を学ぶ学生や若手のダム技術者を対象としております。



### 【若手技術者のためのダム勉強会の趣旨】

- ～ ダム見学・講演を通して、ダム事業の目的や効果、ダムの構造や施工、管理の方法など、様々な視点からダムについて学ぶ場を提供します。
- ～ ダム見学やダム事業に関わる先輩技術者との対話をとおしてダムに関わる仕事の魅力を紹介します。
- ～ 学・官・民の若手技術者の連携・交流を深める場を提供し、ダム工学に関わる技術者の活性化を促します。

### ◆勉強会開催要項

- ①開催日：令和5年1月18日(水)
- ②開催方法：Zoomによるオンライン配信(Zoomウェビナー)
- ③参加費：無料
- ④募集人数：100名(ダム工学会会員以外の方も参加可能です。)
- ⑤申込期限：令和5年1月12日(木)12時
- ⑥申込方法：下記のURLまたは右のQRコードより、  
 参加申込フォームに必要事項を入力してお申込み下さい。  
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/66a8a903765698>  
 ※申込み後、メールにてご案内をお送りします。
- ⑦日程(案)：プログラム(裏面)をご確認下さい。
- ⑧質問方法：当日の質問はZoomのチャット機能にて受け付けます。
- ⑨CPD：本勉強会は、土木学会のCPDプログラム認定を申請予定です。
- ⑩その他：勉強会后、アンケートにご回答いただいた方には、ダム工学会若手の会製作のオリジナルトートバッグをご用意しています。ご希望される方には発送先をお伺いしますが、住所・氏名等の情報は発送以外の目的には使用致しません。



パンフレット



## プログラム

13:00~13:10	開会の挨拶 東京工業大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系 准教授 千々和 伸浩
<b>1. ダムを知ろう</b>	
13:10~13:30	「ダムの基礎知識講座」 (株)ニュージェック 河川部門ダムグループ グループマネジャー 新家 拓史
13:30~13:40	質疑・応答
<b>2. 既設ダムの有効活用</b>	
13:40~14:00	「気候変動に備える治水対策の推進（適応）とダムの高度利用による カーボンニュートラル（緩和）への貢献」 国土交通省 水管理・国土保全局 治水課 事業監理室 企画専門官 小澤 盛生
14:00~14:10	質疑・応答
<b>3. ダムの長寿命化運用</b>	
14:10~14:30	「木津川上流ダム群の長寿命化運用（土砂管理）の取り組みについて」 (木津川上流ダム群：川上ダム、比奈知ダム、青蓮寺ダム、高山ダム、布目ダム) (独)水資源機構※ 本社ダム事業部 設計課 主査 中國 誠
14:30~14:40	質疑・応答
14:40~14:50	休憩
<b>4. ダムの建設</b>	
14:50~15:35	「比奈知ダムの建設」 <動画再生> (独)水資源機構※ 本社ダム事業部 設計課 主査 中國 誠
<b>5. 放流設備の増設、容量振替</b>	
15:35~15:55	「既設ダムを有効活用するダム再生事業の取り組みについて」 (奈良俣ダム、早明浦ダム) (独)水資源機構※ 本社ダム事業部 設計課 課長補佐 竹内 宏隆
15:55~16:05	質疑・応答
16:05~16:15	閉会の挨拶 東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 教授 石田 哲也

司会進行：(一財)日本ダム協会 参事 中野 朱美

※(独)水資源機構とは ⇒ Check



### お問合せ先

TEL : 03-5815-4161

FAX : 03-5815-4162

E-Mail : damko\_wakate@jdec.or.jp

(一財)ダム技術センター内

ダム工学会若手の会事務局 間野、田中、中村

※内容に一部変更が生じる場合がございます。

## プログラム



実施状況(1)



実施状況(2)

○ with Dam★Night 「2022：ダムオデッセイ」

開催日：令和4年7月22日

場所：(一財)ダム技術センター AB会議室 (WEB開催)

参加者数：260名

wDN プログラム

17:40 開場 ゲート工事映写 (川上ダム)

18:00 開会挨拶 ダム工学会会長 出水重光 ((株)八千代コンサルタント)

開演映像「ダムの夜明け part2」 制作：尾山玲 (活性化委員)

18:10～19:00 第Ⅰ部「歴史に残る鋼製ゲート」MC 二人による1時間の航海  
夜話1「色々な鋼製ゲート ～変わった形 古い形 強い形」 夜雀(ダム愛好家)

夜話2「部門別ランキングに見るゲート技術の変遷」 エンジニアス川崎 (活性化小委員長)

18:50-19:00 休憩 ゲート工事映写 (八ッ場ダム、大林水門、天ヶ瀬再開発)

19:10～21:05 第Ⅱ部「ゲート技術の夜(や)話(わ) 八(や)話(わ)」4社メーカーと  
愛好家による2時間の航海

夜話3「山須原ダム クレストラジアルゲート」 夜雀(ダム愛好家)

夜話4「八ッ場ダム 放流ゲート一式」 (株)IHI インフラシステム

夜話5「天ヶ瀬ダム トンネル洪水吐き主ゲート」 なな爺

夜話6「鶴田ダム 仮締切ゲート」 日立造船(株)

夜話7「津軽ダム 引張りラジアルゲート」 磯部祥行

夜話8「鹿野川ダム トンネル洪水吐き呑口ゲート」 豊国工業(株)

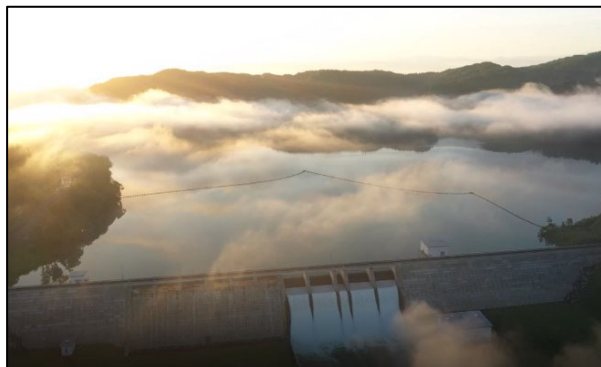
夜話9「笠堀ダム オリフィスゲート」 エンジニアス川崎

夜話10「夕張スーパーダム 連続サイホン」 (株)丸島アクアシステム

21:05～21:10 総括

コメント、チャット紹介、ホームページへの投稿

最後の締め「ダムラブ♡」のweb 斉唱



実施状況(1)



実施状況(2)



with Dam★Night 2022, Dam Odyssey:Gate

ダム工学会 Web開催  
一般参加行事（無料）

## 「ダム探求の旅 ゲート編」

今年もやります、13年目 **とき : 2022年7月22日(金) 18:00~21:00**

**ゲートってすごい！今回も探求心満載の構成となっています。**



内容は学会ホームページ(<http://www.jsde.jp/index.html>)でご確認ください。人数制限のweb講演方式ですので早めに事前登録して下さい。

**申込方法(事前登録):** お手数ながら、下記申込フォームからお申し込み下さい。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/96ec09ce749151>

申込期間：6/22（水）～ 7/20（水）

お問合せ：ダム工学会 with Dam Night事務局【（一財）ダム技術センター内】

E-mail アドレス：dam\_eng@jdec.or.jp TEL 03-5815-4161（担当：高野、秋場）

主催/ダム工学会 後援/日本ダム協会、建設コンサルタンツ協会、ダム工事総括管理技術者会

発信場所：Studio\_AB@ダム技術センター

- with Dam★Night at HOME+
  - 開催日： 令和4年10月28日
  - 場所： 梅田Lateral（WEB開催）
  - 参加者数： 90名

wDN プログラム	
	司会：夜雀
19:00～19:05：開会挨拶（ダム工学会 出水 重光会長）	
19:05～19:30：揚水発電など水力発電について Hisa 様（ダムマイスター(一般) 01-016)	
19:30～20:40：揚水発電所の事例紹介	
①奥多々良木発電所（（上）黒川ダム・（下）多々良木ダム） 夜雀様（ダムマイスター(一般) 01-003)	
②新豊根発電所（（上）新豊根ダム・（下）佐久間ダム） 夜雀様（ダムマイスター(一般) 01-003)	
③高根第一発電所（（上）高根第一ダム・（下）高根第二ダム） だしえろ様（ダムマイスター(一般) 01-032） 佳様（ダムマイスター(一般) 03-046)	
20:40～20:55：海外の揚水発電所の紹介（京都大学 角 哲也教授）	
20:55～21:00：閉会挨拶（京都大学 角 哲也教授）	



### 実施状況 (1)



### 実施状況 (2)

# With Dam ★ Night

at HOME+

2022.10.28(金)

19:00 ≧ 21:00

参加費 無料

## \* With Dam ★ Nightとは

ダムとは、洪水対策や利水補給のための重要な社会インフラであり、多くの方々の協力の結晶として造られるものです。この意義を将来世代に引き継ぐため、ダムを愛する方々が交流する一夜だけのイベント、それがWith Dam ★ Nightです。

今年は揚水発電をテーマに魅力あふれる盛り沢山のダム情報を生配信予定です！チャットでツッコんだり応援したり質問したりもできます！

ダムファン、ダム初心者みなさん、自宅でお酒やおつまみ、美味しい物を楽しみながら、ダムの世界をご堪能ください！

## \* 視聴方法

下記URLあるいはQRコードより視聴ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=mbPdv64N2PY>



配信視聴締切：2022年11月13日  
11/13(日)まで何回でも視聴できます！

## \* プログラム

19:00	<b>開会</b> 挨拶：出水 重光 (ダム工学会 会長)
19:05	19:05~19:30 <b>揚水発電など水力発電について</b> Hisa (ダムマイスター(一般) 01-016) コメント：19:25~19:30
	19:30~20:40 <b>揚水発電所の事例紹介</b> 関西電力：奥多々良木発電所 (上) 黒川ダム・(下) 多々良木ダム 電源開発：新豊根発電所 (上) 新豊根ダム・(下) 佐久間ダム 中部電力：高根第一発電所 (上) 高根第一ダム・(下) 高根第二ダム 夜雀 (ダムマイスター(一般) 01-003) dashelo (ダムマイスター(一般) 01-032) 佳 (ダムマイスター(一般) 03-046) コメント：20:30~20:40
20:40	20:40~21:00 <b>閉会 (海外の揚水発電所等)</b> 挨拶：角 哲也 (京都大学防災研究所 教授)

司 会 者：夜雀 ダムマイスター(一般) 01-003

※敬称略 ※プログラムは予告なく変更する場合があります。

一般財団法人 ダム技術センター内 ダム工学会 “With Dam ★ Night” 中部・近畿ブロック事務局

担当：木下 TEL: 06-6206-5701 E-MAIL: y-kinost@ctie.co.jp / 担当：赤松 TEL: 06-6374-4379 E-MAIL: akamatsuts@newjec.co.jp

主催：一般社団法人 ダム工学会

協力：関西電力株式会社 (朝来水力センター) / 中部電力株式会社 (岐阜水力センター) / 電源開発株式会社 (水力発電部)

パンフレット

- 東北地区 現場研修会
  - 開催日： 令和4年10月19日
  - 実施場所： 成瀬ダム
  - 参加者数： 24名

wDN プログラム		司会：夜雀
7：30集合	J R仙台駅東口1F	
7：45発	バスプール	
7：45-10：55	工事概要説明（WEB） 丹羽委員による講義	
10：55-11：05	現地集合者と合流	
11：05-11：25		
11：25-12：00	【やまゆり温泉】・ダムカレー	
12：00-12：40	成瀬ダム工事事務所に移動・事業概要説明	
12：40-15：30 (約2時間50分)	DXLABO-堤体工事場所-原石山工事場所-材料製造場所	
15：30-19：30	見学会の感想他	
19：30	解散	



実施状況(1)



実施状況(2)

○ with Dam★Night in 仙台 2022

開催日： 令和4年11月24日

場所： 東北大学 工学研究科人間・環境系教育研究棟 309  
(WEB開催)

参加者数： 171名

wDN プログラム	
司会：加納 実(ダム工学会東北地区 実行委員)	
18:30	開会挨拶 ダム工学会 会長 出水 重光
18:35	夜嘶1：「地域とともに取り組んでいる川内沢ダム建設事業」 宮城県仙台地方ダム総合事務所 建設班 技術次長(班長) 尾形 拓也
19:05	夜嘶2：「成瀬ダム工事 バーチャル現場見学」 鹿島・前田・竹中土木特定建設工事 共同企業体 成瀬ダム堤体打設 JV 工事事務所 副所長 松本 孝矢
19:35	休憩
19:45	夜嘶3：「豊かさの再定義～ダイアログネイチャーツアーと湖畔のカフェ～」 ネビラキ 代表 瀬川 然
20:15	夜嘶4：「ダムとイベント～マニアは何故ダムへと向かうのか?～」 ダム愛好家/(一財)日本ダム協会 ダムマイスター) SUJUN
20:45	夜嘶5：「北海道のダム自慢～みんなおいでよ北海道～」 株式会社ドーコン 水工事業本部 水工部 グループ長、ダムマイスター 尾山 玲
21:30	閉会挨拶



実施状況 (1)



実施状況 (2)

# with Dam★Night in 仙台 2022

with 北海道

東北からダムワールドへご招待。  
 今回は北海道からも参戦♪  
 “with Dam★Night in 仙台 2022”は、ダムへの架け橋です。  
 今年度も Web講演形式。ご自宅からゆっくりお楽しみください。  
 さあ魅力あふれるダムの世界へ。



**とき** 2022年11月24日(木) 18:30 ~ 21:30(開場/18:00)

**Web 講演形式**  
**ところ** 東北大学工学研究科 人間・環境系教育研究棟 309 スタジオから発信  
 聴講無料/150名程度

**お問合せ**  
 with Dam ☆ Night in 仙台 2022 事務局 担当：権神侑貴  
 TEL：022-216-5752  
 E-mail：dam-eng-tohoku2022@yachiyo-eng.co.jp

主催：(一般社団法人) ダム工学会  
 共催：(公益社団法人) 土木学会岩盤力学委員会 (土木学会 CPD 認定プログラム 2.7 単位)  
 後援：(一般財団法人) 日本ダム協会 / ダム工事総括管理技術者会

パンフレット (表面)



- 九州地区「立野ダム」現場見学会
  - 開催日： 令和4年11月29日
  - 見学場所： 立野ダム
  - 参加者数： 14名

プログラム	
11:45	博多駅集合
12:00	博多駅出発
12:00～13:00	移動（博多駅～玉名 PA）
13:00～13:10	休憩（玉名 PA）
13:10～14:10	移動（玉名 PA～立野ダム）
14:10～16:45	立野ダム到着・見学（2時間）
16:45～17:45	移動（立野ダム～玉名 PA）
17:45～18:00	休憩（玉名 PA）
18:00～19:00	移動（玉名 PA～博多駅）
19:00	博多駅到着・解散



実施状況(1)



実施状況(2)

# ダム工学会主催 「立野ダム」 現場見学会のお知らせ

ダム工学会九州地区連絡会では、今年で17回目となる現場の見学会を、立野ダムにて開催する運びとなりましたのでお知らせいたします。

立野ダムは、九州地方整備局立野ダム工事事務所にて建設が進められている、白川水系白川の流水型ダムです。

工事後は、堤高87m、堤頂長197mの堤体が打ちあがり、ダム底部には5.0m×5.0mの常用洪水吐きが3門、ダム上部には非常用洪水吐が8門設置されています。

立野ダムは、現在、堤体打設、基礎処理工、減勢工打設、およびダム周辺の地すべり対策工を行っており、見学会では、ダム工事に関する概要を説明いただいた後、実際にダム工事現場を見学します。

参加費は、ダム工学会会員・非会員に関わらず無料となっております。

見学会の詳細については、次ページに記載しております。

パンフレット

○ with Dam★Night in Kyushu 2022

開催日： 令和4年11月19日

場 所： WEB開催

参加者数： 89名

プログラム	
13:30～13:55	【Web 開場】(フォトコンテスト閲覧・投票、動画提供)
13:55～14:00	【開場案内】 kaede
14:00～14:05	【開会挨拶】 ダム工学会 会長 出水重光
14:05～14:35	【講演①】 ふるさと朝倉の復旧・復興 現状とこれから 朝倉市長 林 裕二
14:35～15:00	【講演②】 寺内ダムの魅力ダムマイスター ～あさくらの四季 ダムと自然を愛でる～ 朝倉市 3 ダム愛好家三ちゃん
15:00～15:25	【講演③】 ダム湖と海の共演 ～インフィニティダム湖の展望を楽しもう～ アマチュアダムフォトグラファー 川北 和義(kazu_ma)
15:25～15:40	【休憩】(フォトコンテスト閲覧・投票、動画提供)
15:40～16:05	【講演④】 南阿蘇・立野ダムインフラツーリズム 一般社団法人 みなみあそ観光局・事務局長 小笹 和幸
16:05～16:30	【講演⑤】 土木の価値と使命を伝えよう 噂の土木応援チームデミーとマツ共同代表 松永昭吾
イベント	
16:30～16:35	【フォトコンテスト審査発表】 ダム工学会九州地区連絡会 wDN 実行委員会 泉 倫光
16:35～16:40	【開会挨拶】 ダム工学会九州地区連絡会 会長 矢野 真一郎



実施状況 (1)



実施状況 (2)

# with Dam ★ Night in Kyushu 夜のダムのドラマを語る☆

ダム、それは人類の知恵と科学技術の結晶、それは夢と発見のロマンの砦。

3年ぶりに開催!

“with Dam ★ Night”とは、シンポジウムを通じてダムの魅力を発見・発信する一夜だけのイベントです。ダムは、洪水時の増水を調節して私たちの生命・財産を守り、また平常時は蓄えた水で私たちの生活を潤すとともに発電により社会を豊かにするなど、私たちの暮らしに欠かすことのできない重要な社会インフラのひとつです。九州のダムにスポットを当てながら、多彩なトークや写真などでその魅力を余すことなく発信します。

## 2022 with Dam ★ Night in Kyushu を開催します!

2022 **11.19 Sat** web開催 (zoom開催を予定)  
14:00 ▶ 16:40 **参加費無料**

※新型コロナウイルス感染防止のため、対面開催は見送らせていただきます。

詳細については、申込まれた方へメールにてご連絡いたします。

2019九州ダムフォトコンテスト作品

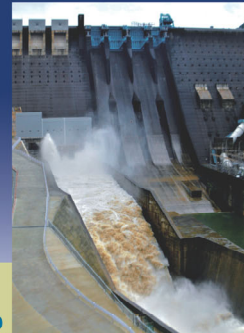


2022九州ダムフォトコンテストの写真を募集中!

応募要項は、ダム工学会HPに掲載しています。  
(11月11日(金)まで)

最優秀賞

「春のきわい」寺内ダム (福岡県野馬市)



優秀賞

「新ゲートの活躍」鶴田ダム (鹿児島県薩摩郡さつま町)



優秀賞

「権謀ブル」上権謀ダム (高知県東白井郡権謀村)

### 2022 with Dam ★ Night in Kyushu プログラムメニュー

13:30 ▶ 13:55	Web開場 (フォトコンテスト閲覧・投票、動画提供)	
13:55 ▶ 14:00	開場案内	FM福岡 DJ&ラジオパーソナリティー Kaede
14:00 ▶ 14:05	開会挨拶	ダム工学会 会長 出水 重光
<b>講演</b>		
14:05 ▶ 14:35	ふるさと朝倉の復旧・復興 現状とこれから	朝倉市長 林 裕二
14:35 ▶ 15:00	寺内ダムの魅力 ~あさくらの四季 ダムと自然を愛する~ ダムマイスター 朝倉市 3 人愛好家	三ちゃん
15:00 ▶ 15:25	ダム湖と海の共演 ~インフィニティダム湖の展望を楽しもう~ アマチュアダムフォトグラファー	川北 和義 (kazu_ma)
15:25 ▶ 15:40	休憩 (フォトコンテスト閲覧・投票、動画提供)	
15:40 ▶ 16:05	南阿蘇・立野ダムインフラツーリズム 一般社団法人みなみあそ観光局・事務局長	小笹 和幸
16:05 ▶ 16:30	土木の価値と使命を伝えよう 噂の土木応援チームデミーとマツ共同代表	松永 昭吾
<b>イベント</b>		
16:30 ▶ 16:35	フォトコンテスト審査発表	ダム工学会九州地区連絡会 wDN 実行委員会 泉 倫光
16:35 ▶ 16:40	閉会挨拶	ダム工学会九州地区連絡会 会長 矢野 真一郎

※講演時間に約 5 分間の質問時間を含む

ご案内

2022 with Dam Night in Kyushuへの参加および2022九州ダムフォトコンテストへ応募希望のかたは、下記URLのダム工学会HPよりお申込みください。

ダム工学会 HP URL

[http://www.jsde.jp/kassei/kassei\\_R04wdn-kyushu-annal.html](http://www.jsde.jp/kassei/kassei_R04wdn-kyushu-annal.html)  
(URL をクリックすると、HPに飛びます)



2022 with Dam Night in Kyushu 参加申込はコチラの QR コードからも可能です!

主催：(一社)ダム工学会九州地区連絡会  
共催：(一社)九州地方計画協会  
後援：国土交通省九州地方整備局/福岡県/福岡市  
(公社)土木学会西部支部  
(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部  
(一社)日本建設業連合会九州支部  
(一財)日本ダム協会/ダム工事総括管理技術者会  
九州大学工学研究院 社会基盤部門・環境社会部門  
**LOVE FM 76.1**

パンフレット (表面)

### 3. 研究活動

#### (1) 研究部会

調査研究委員会の研究部会は、コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、ダム技術史、ダム貯水池課題研究部会の7部門から構成され、各研究部会において研究活動が行われた。

##### ① コンクリートダム研究部会

「ダム管理期間としての第IV期設定について」を会誌「ダム工学」へ投稿した。また、「コンクリートダムとDX -何が変わるのか- (仮称)」について、ダム健全性に係る診断技術、ダム維持管理DXに係る現状の技術資料などを収集・整理を行い、フレーム的な報文案や目次・タイトル案をもとに意見交換、分担調整、今後のスケジュール等について方針協議を行った。

##### ○ 第1回 コンクリートダム研究部会

開催日： 令和4年6月6日

会議形式： WEB会議

##### ○ 第2回 コンクリートダム研究部会

開催日： 令和5年2月22日

会議形式： WEB会議

##### ② フィルダム研究部会

「フィルダム再開発(嵩上げ、耐震補強、放流設備増強)の技術的検討」について、再開発事例の収集整理と分析、再開発にあたっての技術的課題と対応方法について取りまとめを開始した。着目する観点を定めて事例調査を行い、フィルダム再開発工事での設計・施工上の留意点を整理した。

##### ○ 第1回 フィルダム研究部会

開催日： 令和4年12月8日

会議形式： WEB会議

##### ③ 地質・基礎研究部会

「ダム(堤体、貯水池周辺斜面)の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について、既往文献に基づく事例研究とそのとりまとめを行った。また、新規研究テーマについて検討を行った。

##### ○ 第1回 地質・基礎研究部会

開催日： 令和4年6月20日

会議形式： WEB会議

##### ○ 第2回 地質・基礎研究部会

開催日： 令和4年9月27日

会議形式： WEB会議

##### ○ 第3回 地質・基礎研究部会

開催日： 令和4年12月23日

会議形式： WEB対面併用会議

④ 維持管理研究部会

「持続可能なダム機能の確保に向けた新技術の活用に関する研究」について、収集した技術文献をデータベース化し、技術開発の動向や利用例を整理した。

- 第1回 維持管理研究部会  
開催日： 令和4年5月26日  
会議形式： 会員企業会議室
- 第2回 維持管理研究部会  
開催日： 令和4年8月25日  
会議形式： WEB会議
- 第3回 維持管理研究部会  
開催日： 令和4年11月22日  
会議形式： WEB会議
- 第4回 維持管理研究部会  
開催日： 令和5年2月21日  
会議形式： WEB会議

⑤ 施工研究部会

ダムコンクリートの強度試験について、施工設備の計量精度向上などの技術的進歩を反映した新たな品質管理基準への移行を目指す。このため、部会成果を次回の土木学会コンクリート標準示方書改訂に反映させるとともに、「ダム工学」への部会報告原稿の作成を進めた。

- 第1回 施工研究部会  
開催日： 令和4年8月8日  
会議形式： (一財)ダム技術センター WEB 対面併用会議
- 第2回 施工研究部会  
開催日： 令和4年9月7日  
会議形式： (一財)ダム技術センター WEB 対面併用会議
- 第3回 施工研究部会  
開催日： 令和4年10月14日  
会議形式： (一財)ダム技術センター WEB 対面併用会議
- 第4回 施工研究部会  
開催日： 令和4年12月16日  
会議形式： (一財)ダム技術センター WEB 対面併用会議
- 第5回 施工研究部会  
開催日： 令和5年2月13日  
会議形式： (一財)ダム技術センター WEB 対面併用会議

⑥ ダム技術史研究部会

休会中

⑦ ダム貯水池課題研究部会

会誌「ダム工学」への投稿原稿作成と新たな部会活動方針の作成を行った。合わせて、WG活動として、ダム動画作成WGでは、ダムの洪水調節機能を高める取り組みを紹介する動画「防災学術連携体 防災科学の基礎講座」を作成し公開した。また、ダム大規模洪水対応WGでは、ダム効果の情報発信及びダム事前放流に関する提言の作成と特別講演会の資料作成を行った。

【ダム貯水池課題研究部会】

- 第1回 ダム貯水池課題研究部会  
開催日： 令和4年4月25日  
会議形式： WEB会議
- 第2回 ダム貯水池課題研究部会  
開催日： 令和4年10月31日  
会議形式： 対面（ダム技術センター会議室）
- 第3回 ダム貯水池課題研究部会  
開催日： 令和5年1月5日  
会議形式： メール審議

【ダム動画作成ワーキング】

- 第1回 ダム動画作成ワーキング  
開催日： 令和4年6月20日  
会議形式： 対面（ダム技術センター会議室）
- 第2回 ダム動画作成ワーキング  
開催日： 令和4年8月30日  
会議形式： WEB会議
- 第3回 ダム動画作成ワーキング  
開催日： 令和4年9月30日  
会議形式： WEB会議

【ダム大規模洪水対応ワーキング】

- 第1~7回 ダム大規模洪水対応ワーキング  
開催日： 令和4年5月11日  
          : 令和4年5月23日  
          : 令和4年6月10日  
          : 令和4年6月22日  
          : 令和4年8月9日  
          : 令和4年10月17日  
          : 令和4年10月26日  
会議形式： WEB会議
- 国交省ヒアリング（北陸地方整備局）  
開催日： 令和4年9月29日  
会議形式： WEB会議
- マスコミ（業界紙2社）ヒアリング  
開催日： 令和4年12月22日  
会議形式： WEB対面併用会議（ダム技術センター会議室）

## (2) 交流研究事業

「ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究」、「コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究」、「ダム下流への土砂供給によって形成される河床地形の物理－生態環境評価手法に関する研究」について継続した。

### ① ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究

研究者 法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科  
溝渕 利明教授  
研究フィールド 全国各地域から最近完成した 37 ダムを選定

### ② コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊検査に関する研究

研究者 東京都立大学 都市環境学部 都市基盤環境学科  
大野 健太郎准教授  
研究フィールド 国土交通省関東地方整備局 湯西川ダム等

### ③ ダム下流への土砂供給によって形成される河床地形の物理－生態環境評価手法に関する研究

研究者 京都大学防災研究所 水資源環境研究センター  
竹門 康弘准教授  
研究フィールド 国土交通省中部地方整備局 小渋ダム等



## 4. 出版活動

### ○学会誌「ダム工学」

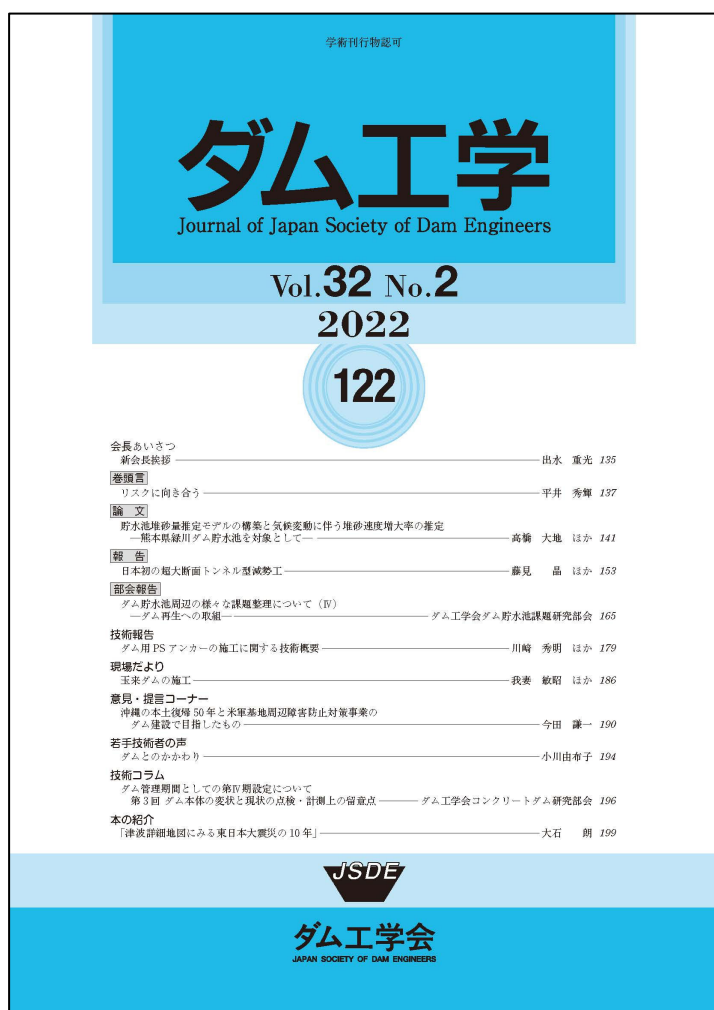
令和4年度は、2回の会誌発行を行った。社会のニーズを踏まえた技術（ダム貯水池周辺の課題、ダム用PSアンカーの施工など）を掲載した。

VOL.32 No.2 令和4年 9月15日発行

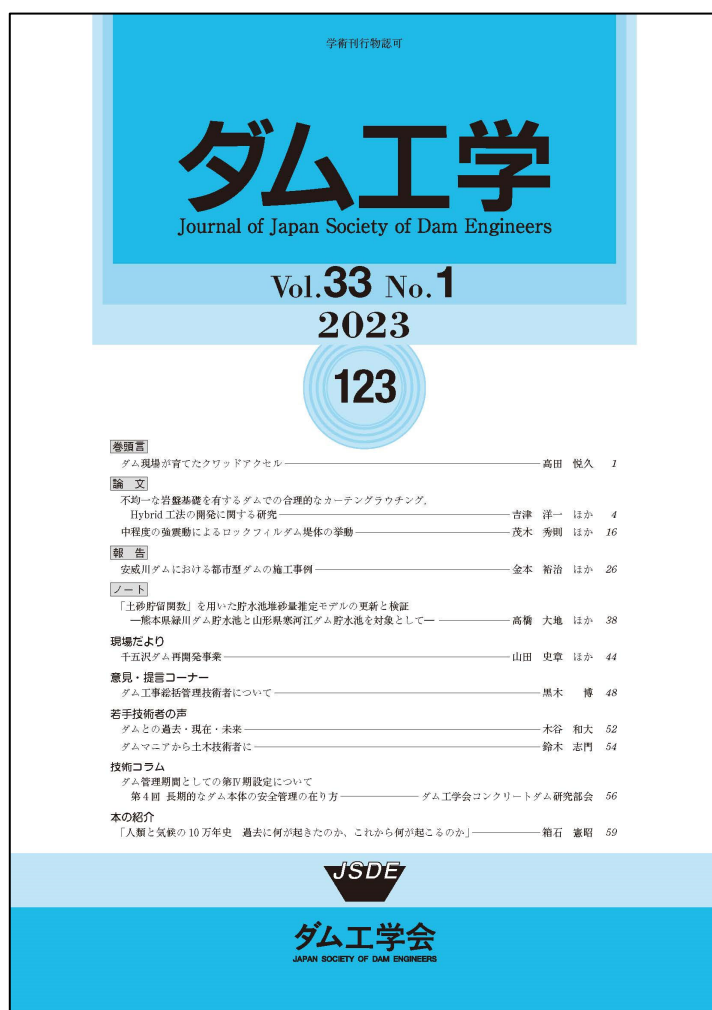
論 文：1件  
報 告：1件  
部会報告：1件  
技術報告：1件

VOL.33 No.1 令和5年 3月15日発行

論 文：2件  
報 告：1件  
ノ ー ト：1件



VOL. 32 No.2 令和4年 9月15日発行



VOL. 33 No.1 令和5年 3月15日発行





## 令和4年度 収支決算報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位：円)

## 収入の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 会費収入 (①～④計)	10,740,000	10,423,065	316,935	
①正会員会費	3,500,000	3,253,065	246,935	546口(手数料¥22,935差し引き)
②学生会員会費	0	0	0	
③シニア会員会費	240,000	320,000	△ 80,000	3万/8口,4万/2口
④賛助会員会費	7,000,000	6,850,000	150,000	5万/137口
2. 事業収入 (①～⑦計)	1,905,000	75,000	1,830,000	
①総務小委員会収入	0	0	0	総会後の懇親会中止
②研究発表会収入	200,000	0	200,000	WEB開催による減(プログラム代)
③現地見学会収入	1,215,000	0	1,215,000	現地見学会中止
④講習会収入	0	0	0	
⑤表彰関係収入	0	0	0	
⑥活性化推進収入	490,000	75,000	415,000	
若手の会	150,000	45,000	105,000	現地見学会参加費
ダムなんでも相談室	0	0	0	
北海道ブロック	20,000	0	20,000	現地見学会中止
東北ブロック	20,000	18,000	2,000	WDN(WEB開催)現地見学会(現地開催)
中部近畿ブロック	150,000	12,000	138,000	WDN(WEB開催)懇親会参加費
中国四国ブロック	0	0	0	
九州ブロック	150,000	0	150,000	WEB開催(参加費無)
with Dam Night 2022	0	0	0	
⑦調査研究収入	0	0	0	
コンクリートダム研究部会	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	0	0	0	
維持管理研究部会	0	0	0	
施工研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	0	0	0	
ダム貯水池課題研究部会	0	0	0	
交流研究事業	0	0	0	
3. 刊行収入 (①～④計)	1,000,000	1,397,645	△ 397,645	
①会誌一般頒布収入	196,000	210,000	△ 14,000	「ダム工学」購読費
②会誌広告料	700,000	660,000	40,000	
③抜刷別刷収入	74,000	401,500	△ 327,500	大林組からの注文
④その他収入	30,000	126,145	△ 96,145	JAC著作権使用料等分配金
4. 図書出版事業収入	30,000	33,778	△ 3,778	フィルダムの変位計測に関するGPS利用マニュアル、ダムの科学
5. 雑収入 (①～②計)	1,051,000	316,069	734,931	
①補助金収入	1,050,000	316,049	733,951	現地見学会中止、ダムなんでも相談室WEB開催、九州地方計画協会WEB開催。
②受取利息	1,000	20	980	
小計(1～5計)	14,726,000	12,245,557	2,480,443	
6. 前年度繰越金	※30,191,120	30,191,120	0	
合計(小計+6)	44,917,120	①42,436,677	2,480,443	

※ 前年度繰越額

(単位：円)

## 支出の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	9,889,000	3,428,705	6,460,295	
①研究発表会支出	955,000	119,725	835,275	研究発表会・特別講演会・講習会同時開催
②現地見学会支出	1,565,000	880	1,564,120	現地見学会中止
③講習会支出	150,000	31,210	118,790	研究発表会・特別講演会・講習会同時開催
④表彰関係支出	990,000	780,397	209,603	表彰・選考委員会
⑤広報支出	110,000	107,118	2,882	広報小委員会
⑥活性化推進支出	5,244,000	2,140,165	3,103,835	活性化推進小委員会
若手の会	1,450,000	246,150	1,203,850	現地見学会、WEB勉強会実施
ダムなんでも相談室	570,000	517,453	52,547	ダムなんでも相談室WEB開催
北海道ブロック	411,000	550	410,450	現地見学会中止
東北ブロック	463,000	359,473	103,527	WDN WEB開催経費
中部近畿ブロック	520,000	229,731	290,269	WDN WEB開催経費
中国四国ブロック	300,000	770	299,230	現地見学会中止
九州ブロック	1,280,000	483,089	796,911	WDN WEB開催経費 現地見学会経費
with Dam Night 2022	250,000	302,949	△ 52,949	WDN WEB開催
⑦調査研究支出	875,000	249,210	625,790	
コンクリートダム研究部会	1,000	770	230	残高証明発行手数料
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	30,000	13,580	16,420	工事誌調査費用等
維持管理研究部会	52,000	880	51,120	残高証明発行手数料
施工研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	1,000	880	120	残高証明発行手数料
ダム貯水池課題研究部会	191,000	233,100	△ 42,100	動画作成費
交流研究事業	600,000	0	600,000	
2. 刊行支出	3,300,000	3,012,659	287,341	
①会誌作成費	3,300,000	3,012,659	287,341	送料・抜刷別刷料含む
3. 図書出版事業支出	250,000	245,905	4,095	GPS利用マニュアル増刷
4. 事務支出 (①～⑪計)	1,260,000	1,572,850	△ 312,850	
①会場費	400,000	885,500	△ 485,500	総会、研究発表会・特別講演会・講習会 会場費
②会議費	50,000	64,258	△ 14,258	総会、研究発表会・特別講演会・講習会 経費
③印刷製本費	30,000	0	30,000	総会WEB開催による減
④諸謝金	135,000	50,000	85,000	ダム工学 巻頭言・査読料
⑤消耗品費	0	0	0	
⑥通信費	100,000	140,298	△ 40,298	会費請求書送付等
⑦支払手数料	150,000	55,525	94,475	振込手数料等
⑧旅費交通費	0	0	0	
⑨コンサルタント料	200,000	207,000	△ 7,000	会計顧問報酬・登記簿本手続き代行手数料
⑩雑費	150,000	139,920	10,080	ダム日本講読料、日本工学会会費 防災学術連携体会費等
⑪源泉徴収費	45,000	30,349	14,651	ダム工学会からの諸謝金に対する源泉徴収税
5. 予備費支出	100,000	0	100,000	
小計 (1～5計)	14,799,000	② 8,260,119	6,538,881	
6. 繰越金	30,118,120	③ 34,176,558	△ 4,058,438	
合計 (小計+6)	44,917,120	42,436,677	2,480,443	

注1 12,245,557 - 8,260,119 = 3,985,438

注2 予算額と決算額の主な差異について別添参照

## 予算額と決算額の主な差異などについて（補足説明）

### 収入の部

#### 3.③抜刷別刷収入(¥401,500)

株式会社大林組 土木本部生産技術本部より¥154,000 円、株式会社大林組 川上ダム JV 事務所より ¥247,500 円の注文があったため大幅増。

#### 5.①補助金収入(¥316,049)

WDN 九州の九州地方計画協会補助金は、当初、¥800,000 を計上。

新型コロナの影響によりWEB 開催となり、会場費用が不要になったことから、実際に要した費用(¥316,049)のみとなったため、減額。

大ダム会議負担金(¥50,000)は現地見学会中止のため0円。

CMED 会負担金(¥200,000)は、ダムなんでも相談室 WEB 開催のため0円。

### 支出の部

#### 1.①研究発表会支出

研究発表会・特別講演会・講習会の会場費を総務小委員会から支払ったため大幅減。

#### 1.③講習会支出

研究発表会・特別講演会・講習会の会場費を総務小委員会から支払ったため大幅減。

#### 1.⑥活性化推進支出(ダムなんでも相談室)(¥517,453)

前年度予算が新型コロナにより実施できなかったことから、今年度、河川基金への返金(¥419,117)。

今年度、WEB 開催による開催及び配布物等に要する費用(¥98,336)。

#### 4.①会場費

研究発表会・特別講演会・講習会の会場費を総務小委員会から支払ったため大幅増。

#### 6. 繰越金

¥42,436,677① - ¥8,260,119② = ¥34,176,558③ (令和5年度への繰越額)

令和4年度 会計監査報告

私は、ダム工学会の令和4年度収支決算報告についての監査を行った結果、収支決算報告書は適正であることを認めましたので、ここに報告いたします。

令和5年 4月20日

ダム工学会

監事

氏名 光成政和 

令和4年度 会計監査報告

私は、ダム工学会の令和4年度収支決算報告についての監査を行った結果、収支決算報告書は適正であることを認めましたので、ここに報告いたします。

令和5年 4月20日

ダム工学会

監事

氏名 毛利理明 

## 議案4

# 理 事 選 任 (案)

定款第22条に基づき、令和5年4月27日の第44回評議委員会において、下記の方々が理事に推薦された。

## 理 事

	川崎 正彦	一般財団法人ダム技術センター 研究顧問
	角 哲也	京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター 教授
	乗京 正弘	飛鳥建設株式会社 代表取締役社長
	石井 秀紀	株式会社ニュージェック 顧問
[新任]	山口 嘉一	一般財団法人ダム技術センター 理事
	村上 章	京都大学 大学院総合生存学館 教授・学館長
	溝渕 利明	法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科 教授
	道奥 康治	法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科 教授
	日置 秀彦	独立行政法人水資源機構 副理事長
	日野 浩二	独立行政法人水資源機構 理事 ダム事業本部長
	小平 卓	一般財団法人水源地環境センター 理事
	多田 隆司	関西電力株式会社 執行役常務
[新任]	水口 佳樹	中部電力株式会社 再生可能エネルギーカンパニー 水力事業部長
[新任]	内藤 明	株式会社大林組 土木本部生産技術本部 統括部長
	黒木 博	大成建設株式会社 土木技術部 ダム技術室専任部長
[新任]	林 健二	鹿島建設株式会社 土木管理本部 統括技師長
	藤田 司	株式会社安藤・間 建設本部 土木技術統括部 副統括部長
	石田 裕哉	株式会社建設技術研究所 顧問 ガバナンス統括本部 監査室 室長
[新任]	高橋 努	八千代エンジニアリング株式会社 代表取締役社長執行役員
	植本 実	日本工営株式会社 執行役員 コンサルティング事業統括本部 エグゼクティブエンジニア
	鎌屋 明	日立造船株式会社 執行役員 機械・インフラ事業本部 副事業本部長
[新任]	青川 満	株式会社IHIインフラ建設 取締役 防災・水門事業部長
[退任]	出水 重光	八千代エンジニアリング株式会社 取締役会長
[退任]	古関 潤一	ライト工業株式会社 R&Dセンター テクニカルオフィサー
[退任]	吉田 等	一般財団法人ダム技術センター ダム技術研究所長
[退任]	石黒 幸文	東海コンクリート工業株式会社 代表取締役社長 社長執行役員
[退任]	松本 伸	株式会社大林組 顧問
[退任]	高田 悦久	鹿島建設株式会社 専務執行役員 土木管理本部 副本部長
[退任]	林 俊克	株式会社IHIインフラシステム 監査役



議案5

## 監 事 選 任 (案)

定款第22条に基づき、令和5年4月27日の第44回評議委員会において、下記の方々が監事に推薦された。

監 事

光成 政和	一般財団法人日本ダム協会 専務理事
毛利 哲明	電源開発株式会社 常務執行役員

## 令和5年度 事業計画

(令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日)

令和4年度に引き続き、ダム工学研究の向上発展を図ることを目的とし、以下の事業を実施する。また、事業実施にあたっては、WEB会議システムの活用を十分に図ると共に、新型コロナウイルス感染症の状況により、必要な見直しを行う。

### 1. 委員会等活動

- 1) 通常総会
- 2) 理事会
- 3) 評議委員会
- 4) 委員会
  - ・企画運営委員会
  - ・編集委員会
  - ・調査研究委員会
  - ・災害調査委員会
  - ・表彰委員会
  - ・選考委員会
  - ・技術開発賞公開審査会
  - ・優秀発表賞選考委員会の各委員会を開催する。

### 2. 行事活動

- |                                      |    |                 |
|--------------------------------------|----|-----------------|
| 1) 特別講演会                             | 1回 | } 1)、2)、3) 合同開催 |
| 2) 研究発表会                             | 1回 |                 |
| 3) 講習会                               | 1回 |                 |
| 4) 現地見学会                             | 1回 |                 |
| 5) ダム工学会賞 表彰式                        | 1回 |                 |
| 6) 活性化関連活動                           |    |                 |
| ・地域活動(オンライン会議室、農業体験など)               |    |                 |
| ・若手の会                                |    |                 |
| ・ダムなんでも相談室                           |    |                 |
| ・“with Dam★Night” 東京、東北、中部・近畿、九州で開催。 |    |                 |

### 3. 出版・広報活動

#### 1) 学会誌「ダム工学」

VOL.33 No.2 2023年 9月 発行予定 (2023年 9月15日号)

VOL.34 No.1 2024年 3月 発行予定 (2024年 3月15日号)

#### 2) ダム工学会ホームページの運用、メルマガ通信及び動画配信

ダム工学会ホームページやメルマガ通信、動画配信などを活用し、ダムなどに関する見学会等のイベント情報をはじめ、ダムの役割などの知識の提供を行う。

#### 3) 戦略的・効果的な広報の実施

特別講演会、研究発表会、講習会、現地見学会(リアルやバーチャル方式の活用)及び活性化関連活動等を通じてダムに関する戦略的・効果的な広報を実施する。

### 4. 研究活動

1) ~7) の研究部会の活動と共に、交流研究事業に取り組む。

#### 4. 1 研究部会 令和5年度活動内容

##### 1) コンクリートダム研究部会

「コンクリートダムとDX -何が変わるのか- (仮称)」について、分担作業(報文案の作成準備)、各編技術コラム案の作成、とりまとめ等を行う。なお、技術コラムの完成・投稿及びダム工学原稿の校正等は、令和6年度以降を予定する。

##### 2) フィルダム研究部会

「フィルダム再開発(嵩上げ、耐震補強、放流設備増強)の技術的検討」について、再開発事例の収集整理と分析、再開発にあたっての技術的課題と対応方法について検討する。

##### 3) 地質・基礎研究部会

「ダム(堤体、貯水池周辺斜面)の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について討議し、会誌「ダム工学」への報文としてとりまとめる。併せて、新規研究テーマの検討を進める。

##### 4) 維持管理研究部会

「持続可能なダム機能の確保に向けた新技術の活用」について、事例研究を行う。降雨予測技術や遠隔操作技術のダム操作への利用、ロボット等の堤体点検、貯水池維持管理の利用技術などに関して幅広く、技術開発の現状や利用例を調査する。先進ダムへの現地見学や意見交換を行う。

## 5) 施工研究部会

「ダムコンクリートの強度試験の合理化」に関する部会成果を令和5年9月の土木学会コンクリート標準示方書改訂に反映させるとともに、改訂にあわせて「ダム工学」(令和5年9月号)に発表する。さらに、新規研究テーマに関する検討に着手する。

## 6) ダム技術史研究部会

部会活動方針について、必要な検討を行う。

## 7) ダム貯水池課題研究部会

今後のダム・貯水池の「広報」のあり方(計画～建設～維持管理)について検討し、「ダム工学」への報告原稿及びダム工学会HPへの投稿資料の作成を行う。

## 4. 2 交流研究事業

「ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究」、「コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究」の2テーマを継続する。また、「CSGの品質向上に関する研究」、「異常洪水時防災操作や事前放流などへの気候変動影響に関する研究」の2テーマを新規に着手する。

### 1) ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究

前年度に引き続き、解析モデル数を増やして解析を行い、温度ひび割れ発生確率曲線の作成を行っていく。

### 2) コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究

非破壊試験方法のうち、衝撃弾性波法および赤外線サーモグラフィ法を用いてコンクリートのひび割れ、水平打継部の一体性評価方法を検討する。

### 3) CSGの品質向上に関する研究

台形CSGダムに用いるCSGの品質向上について、材料特性および施工性の両者から検討を行う。

### 4) 異常洪水時防災操作や事前放流などへの気候変動影響に関する研究

気候変動がダムの異常洪水時防災操作や事前放流などへ与える影響を検討する。



## 令和5年度 収支予算

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(単位：円)

## 収入の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
1. 会費収入 (①～④計)	11,040,000	10,740,000	300,000	
①正会員会費	3,500,000	3,500,000	0	R2-R3年度決算額考慮
②学生会員会費	0	0	0	
③シニア会員会費	740,000	240,000	500,000	R2-R3年度決算額考慮
④賛助会員会費	6,800,000	7,000,000	△ 200,000	R2-R3年度決算額考慮
2. 事業収入 (①～⑦計)	1,625,000	1,905,000	△ 280,000	
①総務小委員会収入	0	0	0	懇親会中止
②研究発表会収入	0	200,000	△ 200,000	学術研究発表会(WEB開催)参加費無
③現地見学会収入	1,215,000	1,215,000	0	現地見学参加費 (大ダム会議と合同開催) 大ダム会議負担金除く
④講習会収入	0	0	0	
⑤表彰関係収入	0	0	0	公開審査会(WEB併用)参加費無
⑥活性化推進収入	410,000	490,000	△ 80,000	活性化推進小委員会
若手の会	200,000	150,000	50,000	若手技術者勉強会、現地見学会参加費
ダムなんでも相談室	0	0	0	河川基金、CMED会補助金除く
北海道ブロック	20,000	20,000	0	ダム見学会参加費
東北ブロック	20,000	20,000	0	ダム見学会参加費
中部近畿ブロック	0	150,000	△ 150,000	with Dam Night(WEB開催)
中国四国ブロック	20,000	0	20,000	ダム見学会参加費
九州ブロック	150,000	150,000	0	with Dam Night会費 ダム見学会参加費 九州地方計画協会を除く
with Dam Night 2023	0	0	0	with Dam Night(WEB開催)
⑦調査研究収入	0	0	0	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	0	0	0	
維持管理研究部会	0	0	0	
施工研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	0	0	0	
ダム貯水池課題研究部会	0	0	0	
交流研究事業	0	0	0	
3. 刊行収入等 (①～④計)	1,076,000	1,000,000	76,000	
①会誌一般頒布収入	196,000	196,000	0	購読会員会費 (2回¥6,000)
②会誌広告料	700,000	700,000	0	会誌広告料 (発行回数2回)
③抜刷別刷収入	150,000	74,000	76,000	会誌の抜刷・カラー印刷
④その他収入	30,000	30,000	0	JST特許料・学術著作権複写
4. 図書出版事業収入	30,000	30,000	0	フィルダムの変位計測に関するGPS利用マニュアル、ダムの科学
5. 雑収入 (①～②計)	1,601,000	1,051,000	550,000	
①補助金収入	1,600,000	1,050,000	550,000	大ダム会議負担金(¥50,000) CMED会(¥200,000) 九州地方計画協会(¥800,000) 河川基金(¥550,000)
②受取利息	1,000	1,000	0	銀行利息
小計 (1～5計)	15,372,000	14,726,000	646,000	
6. 前年度繰越金	※34,176,558	24,689,198	9,487,360	
合計 (小計+6)	49,548,558	39,415,198	10,133,360	

※R4からR5への繰越額

(単位：円)

## 支出の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	10,768,124	9,889,000	879,124	
①研究発表会支出	655,000	955,000	△ 300,000	研究発表会・特別講演会・講習会 合同開催(WEB)
②現地見学会支出	1,565,000	1,565,000	0	現地見学小委員会 (大ダム会議と合同開催)
③講習会支出	150,000	150,000	0	研究発表会・特別講演会・講習会 合同開催(WEB)
④表彰関係支出	1,053,000	990,000	63,000	表彰・選考委員会
⑤広報支出	110,000	110,000	0	広報小委員会(HP管理費)
⑥活性化推進支出	5,682,124	5,244,000	438,124	活性化推進小委員会
若手の会	1,300,000	1,450,000	△ 150,000	若手技術者勉強会、ダム見学会経 費
ダムなんでも相談室	885,000	570,000	315,000	大ダム会議と合同開催
北海道ブロック	490,124	411,000	79,124	ダム見学会経費、オンライン会議室 with Dam Night・ダム見学会経費
東北ブロック	613,000	463,000	150,000	農業体験
中部近畿ブロック	530,000	520,000	10,000	with Dam Night 経費
中国四国ブロック	300,000	300,000	0	ダム見学会経費
九州ブロック	1,214,000	1,280,000	△ 66,000	with Dam Night・ ダム見学会経費
with Dam Night 2023	350,000	250,000	100,000	with Dam Night 経費
⑦調査研究支出	1,553,000	875,000	678,000	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	1,000	1,000	0	部会 経費
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	30,000	30,000	0	現地調査等 経費
維持管理研究部会	60,000	52,000	8,000	現地調査等 経費
施工研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	1,000	1,000	0	残高証明発行手数料
ダム貯水池課題研究部会	61,000	191,000	△ 130,000	部会 経費(報告書作成など)
交流研究事業	1,400,000	600,000	800,000	継続2テーマ 新規2テーマ(2カ年計画)
2. 刊行支出	3,300,000	3,300,000	0	
①会誌作成費	3,300,000	3,300,000	0	発送料・抜刷印刷料含む (会誌発行2回、委員会4回)
3. 図書出版事業支出	0	250,000	△ 250,000	
4. 事務支出 (①～⑪計)	1,595,000	1,260,000	335,000	
①会場費	620,000	400,000	220,000	第33回総会・表彰式等経費(WEB併 用)
②会議費	200,000	50,000	150,000	総会後の受賞者との会議
③印刷製本費	30,000	30,000	0	第33回総会(WEB併用)
④諸謝金	100,000	135,000	△ 35,000	ダム工学 巻頭言・査読料
⑤消耗品費	0	0	0	
⑥通信費	100,000	100,000	0	会費請求書 送付等
⑦支払手数料	150,000	150,000	0	WEBバンク・口座振替手数料
⑧旅費交通費	0	0	0	
⑨コンサルタント料	200,000	200,000	0	会計顧問報酬 登記役員変更手続き代行料
⑩雑費	150,000	150,000	0	ダム日本購読料,日本工学会会費 防災学術連携体会費
⑪源泉徴収費	45,000	45,000	0	諸謝金に対する源泉徴収
5. 予備費支出	100,000	100,000	0	
小計(1～5計)	15,763,124	14,799,000	964,124	
6. 繰越金	—	24,616,198	—	
合計(小計+6)	—	39,415,198	—	

R5の予算収支 ¥15,372,000 - ¥15,763,124 = ¥ -391,124  
R4の予算収支 ¥14,726,000 - ¥14,799,000 = ¥ -73,000

## 評 議 委 員 の 紹 介

定款細則第6条に基づき、令和5年4月27日の第44回評議委員会において、下記の方々  
が評議委員に選出された。

### 評議委員

	石田 哲也	東京大学大学院工学系研究科副研究科長 社会基盤学専攻 教授
	矢野 真一郎	九州大学 工学研究院 環境社会部門 教授
[新任]	服部 敦	国立研究開発法人 土木研究所 河道保全研究グループ グループ長
[新任]	竜澤 宏昌	独立行政法人水資源機構 ダム事業部長
[新任]	大森 栄治	東京都水道局 建設部 施設設計課 課長
	奥秋 芳一	一般財団法人水源地環境センター 水源地環境技術研究所長
	榎田 茂樹	東京電力ホールディングス株式会社 技術戦略ユニット土木・建築統括室 土木・ 建築エンジニアリングセンター 地圏土木技術グループ マネージャー
[新任]	山根 雄一	関西電力株式会社 再生可能エネルギー事業本部 水力部長
	佐藤 正俊	中部電力株式会社 電力技術研究所 土木グループ長
	西浦 和幸	飛鳥建設株式会社 企画本部 経営企画部 部長
	加瀬 俊久	清水建設株式会社 土木技術本部 上席エンジニア
	糠谷 勝彦	三井住友建設株式会社 土木本部 土木統括室 担当部長
[新任]	吉野 俊	前田建設工業株式会社 土木事業本部 営業第1部 副部長(第3グループ)兼ダム担当部長
	高橋 正人	株式会社熊谷組 土木事業本部 ダム技術部 部長
	片岡 大到	佐藤工業株式会社 名古屋支店土木部 所長
[新任]	三浦 義典	八千代エンジニアリング株式会社 事業統括本部 国内事業部 水工部 部長
	井根 健	株式会社ニュージェック 執行役員 技術本部長代理
	鈴木 孝雄	日本工営株式会社 河川水資源事業部 ダム発電部 副技師長
	水摩 智嘉	株式会社建設技術研究所 大阪本社 本社次長
	立花 猛	株式会社エイト日本技術開発 国土インフラ部 河川・港湾グループ グループマネージャー
[新任]	上出 耕三	株式会社丸島アクアシステム 技術本部 技術顧問
[退任]	諏訪 義雄	国立研究開発法人 土木研究所 河道保全研究グループ グループ長
[退任]	足達 謙二	独立行政法人水資源機構 ダム事業本部 ダム事業部長
[退任]	高津 治	東京都水道局 多摩水道改革推進本部 立川給水管理事務所 工務課長
[退任]	梅澤 孝行	関西電力株式会社 土木建築室 土木部長
[退任]	桑野 陵一	前田建設工業株式会社 土木事業本部 上級技師長
[退任]	高橋 努	八千代エンジニアリング株式会社 代表取締役社長執行役員
[退任]	首藤 祐司	株式会社IHI 社会基盤事業領域 事業推進部 次長



# 令和4年度 ダム工学会賞受賞者

## 1. 功績賞

功績賞は、技術賞と同等の業績または論文賞と同等の論文発表等の積み重ねによって、ダム事業の発展やダム工学の進歩に著しい貢献をなしたと認められた個人または団体、あるいはダム工学会の運営に寄与し、学会の声価を高め、その興隆に著しい貢献をなしたと認められた個人または団体に対して授与する。

### 1) 特別功績賞

ダム工学の進歩及びダム工学会の発展に特に著しい貢献

受賞者	所属
魚本 健人	東京大学 名誉教授

### 2) 功績賞

ダム工学の進歩及びダム工学会の発展に貢献

受賞者	所属
中村 康夫	(一財)ダム技術センター 顧問
宮下 紀代則	(株)ニュージェック ダムグループ
向後 雄二	東京農工大学 名誉教授
永田 和弘	(株)大林組 ダム技術部

## 2. 技術功績賞

技術功績賞は、ダムの建設・管理等の実務の積み重ねにより、ダム技術の進歩及び発展に著しい貢献をなしたと認められる個人に授与するものとする。

受賞者	所属
松浦 薫	日特建設(株) 技術開発本部
坂本 秀樹	日立造船(株) 建設工事部水門工事課

### 3. 技術貢献賞

技術貢献賞は、ダムの建設・管理等の実務において、ダム工学の進歩、発展及びダム技術の普及、継承に著しい貢献をなしたと認められる活動を行った団体に授与するものとする。

受賞者	所属
	(今年度は受賞団体なし)

### 4. 技術賞

技術賞は、ダムの計画、設計、施工、または維持管理等に関して、ダム技術の発展に著しい貢献をなしたと認められた画期的な事業または業務を実施した個人または団体に対して授与する。

事業名・業務名	受賞者
山須原発電所ダム 通砂対策工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州電力（株）耳川水力整備事務所</li> <li>・前田建設工業（株）・青木あすなろ建設（株）・松本建設（株） 共同企業体</li> <li>・（株）IHI インフラシステム・西技工業（株）・倉本鐵工（株） 共同企業体</li> <li>・西日本技術開発株式会社</li> </ul>
平取ダム堤体建設工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道開発局 室蘭開発建設部</li> <li>・西松・岩田地崎・岩倉特定建設工事共同企業体</li> <li>・株式会社丸島アクアシステム</li> <li>・旭イノベーション株式会社</li> <li>・西田鉄工株式会社</li> <li>・株式会社ドーコン</li> <li>・日本工営株式会社</li> </ul>
川俣ダムにおける岩盤 PS アンカー更新工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土交通省 関東地方整備局</li> <li>・一般財団法人 ダム技術センター</li> <li>・日本工営 株式会社</li> <li>・株式会社 大林組</li> </ul>

## 5. 論文賞

論文賞は、ダム工学会が刊行する論文集「ダム工学」及び、これと同等の会誌にダム工学に関わる独創的な論文を発表し、ダム工学における学術、技術の発展に著しい貢献をなしたと認められた本会会員である個人または本会会員を含む団体に対して授与する。

受付番号	論文名	受賞者
1	(I類 企画計画部門) Effectiveness of New Rock-Ramp Fishway at Miyanaka Intake Dam Compared with Existing Large and Small Stair-Type Fishways	楢本 拓 浅枝 隆
2	(II類 コンクリートダム部門) 川上ダム本体建設工事の施工工法に関する理論的考察	小俣 光弘 上高 克弘 山中 哲志 富 行穂
3	(II類 コンクリートダム部門) 実地震時挙動に基づく台形CSGダムの耐震性評価	安田 成夫 曹 増延 安藤 駿平
5	(I類 企画計画部門) 予測学習と深層学習によるダム流入量予測の精度向上	石井 明 梁田 信河 天方 匡純 宮崎 利行
6	(II類 コンクリートダム部門) ナローマルチビームを用いたダム湖の沈木探査の可能性	小柴 孝太 高田 翔也 角 哲也

## 6. 技術開発賞

技術開発賞は、ダムの調査、試験、設計、施工または維持管理等において、創意工夫に富む技術を開発実用化し、ダム技術の発展に著しい貢献をなしたと認められた本会会員である個人または本会会員を含む団体に対して授与する。

技術開発件名	受賞者
	(今年度は受賞なし)

## 7. 著作賞

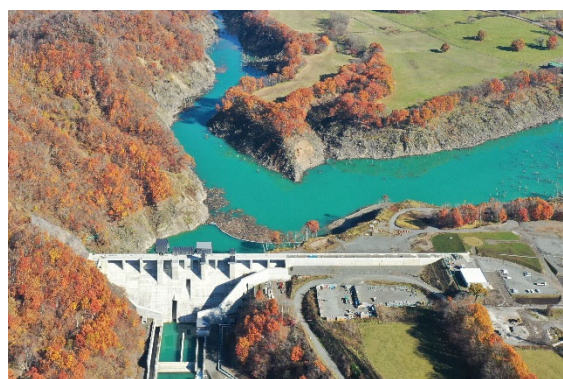
著作賞は、ダム工学を体系化し、またはダム工学における新しい分野を集大成し、ダム工学、ダム技術の発展に著しい貢献をなしたと認められた工学的な著作の著者、またはダム工学、ダム技術の意義あるいはダム技術者の活躍を広く世に紹介することに著しい貢献をなしたと認められた一般的な著作の著者に対して授与する。

著 作 名	受 賞 者
ダムの科学と技術	東京大学名誉教授 魚本 健人
	(一財)ダム技術センター 山口 嘉一
	日本工営(株) 植本 実
	(株)安藤・間 藤田 司
	大成建設(株) 黒木 博
	(株)建設技術研究所 小林 裕
	西松建設(株) 村田 智生
	(一財)ダム技術センター 池田 茂
	(一財)日本ダム協会 工藤 啓
	(一財)日本ダム協会 中野 朱美
	(一財)日本ダム協会 光成 政和
	(一財)日本ダム協会 吉野内 眞二

令和4年度 ダム工学会技術賞 受賞ダム



山須原ダム



平取ダム



川俣ダム

幅広い分野の会員からなる一般社団法人ダム工学会は、工学の総合的な発展に貢献しています。



事務局 〒110-0008 東京都台東区池之端 2-9-7  
池之端日殖ビル 2F  
TEL.03-5815-4161 FAX.03-5815-4162  
URL. <http://www.jsde.jp/>